



発行: 山本みわ後援会 つくば市松代2-21-10 TEL: 029-854-7676 info@miwatsukuba.com

最近の活動をご報告いたします。ご意見ご要望など、お気軽にお寄せください。

2019年12月議会山本みわ一般質問より

『不登校傾向』の中学生は不登校の3倍、 10人に1人は教室に居場所がない

「不登校傾向」とは、教室に入らなかったり、登校していても遅刻・早退が多かったり、内心では毎日「行きたくない」と感じたりしていること。日本財団の調査（2018年12月発表）によると、こうした不登校傾向の中学生が推計でおよそ33万人いることがわかりました。



【山本みわプロフィール】

つくば市議会議員（公明党）
2008年初当選。3期目。
副議長、観光開発推進特別委員、文教福祉委員会委員。

1969年東京都練馬区生まれ。創価大学教育学部児童教育学科卒業。
防災士。
つくば市環境マイスター1級
筑波山地域ジオパーク認定ジオガイド。
つくば中央ライオンズクラブ
むすび支部幹事。
元松代小父母教会会長。
元手代木中PTA会長。
土浦一高PTA会長。

つくば市で推計すると約600人?!

全中学生約325万人の約1割。年間30日以上欠席した「不登校の中学生」約10万人の約3倍が「不登校傾向」にあるということです。

「教室にいるけど学校が辛いと感じている」「本当は授業に参加したくない」「登校はするけど、教室には入りたくない」など学業に対する不安や苦痛のほか、自分の居場所としての「学校」に違和感を抱いている子どもが多いのです。

「不登校児童生徒への支援の在り方について」文科省が通知

（2019年10月25日付）

- ・不登校の理由に応じた働きかけや関わりの重要性
- ・訪問型支援や気軽に相談できる体制づくり
- ・教育支援センター、不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクール、夜間中学、NPO等との積極的な連携で、いろいろな教育の機会を確保していくことを各自治体で取り組むよう示されました。

保健室登校の実態、教育相談センターの限界

保健室登校は、学校によっては10人を超えているところもあります。あくまでも保健室は居場所としての役割であって、教育的指導の場ではありません。養護教諭の負担も増え続けています。

つくば市では沼田にある教育相談センターでの相談支援をはじめ、各学校に配置されているスクールサポーター、スクールソーシャルワーカー等による支援も行われていますが、人手不足の状態。

不登校は増えており、多様な支援形態での個々の状況に応じた対応が急がれます。

平成30年度 つくば市の不登校人数

小学生	111人 (0.76%)
中学生	219人 (3.73%)



ホームページ <http://www.miwatsukuba.com>



facebook: facebook.com/miwatsukuba



Twitter: @miwatsukuba



LINE@山本みわアカウント 登録QR→



つくばセンター地区どうなる？ 特別委員会で市長へ提言

旧イオン棟は解体され、いよいよマンション建設が始まりました。2019年12月20日、つくば市議会「中心市街地まちづくり調査特別委員会」（小野泰宏委員長）より市長へ提言を提出。エリアマネジメント組織の必要性、センタービルの改修、マンション建設の規制、クレオスクエアとの連携など合意した点から取り組むよう要望。



TX 通学定期の値下げ要求 TX3市議会推進協議会

守谷市、つくばみらい市、つくば市でつくるTX3市議会推進協議会で、2019年11月5日TX本社を訪問。特に子育て世代からの「通学定期が高すぎる！」との声が多く、JRとの割引率の比較などを示しながら、値下げ要求を！

TXの通勤・通学の対象は利根川までしか見ていない強気の態度に落胆。しかし、こちらもあきらめません！



「つくば霞ヶ浦りんりんロード」ナショナルサイクルルートに指定！

2019年11月、つくば霞ヶ浦りんりんロードは「ピワイチ」（滋賀県）「しまなみ海道サイクリングロード」（広島県・愛媛県）と共に「ナショナルサイクルルート」に指定されました。自転車を活用した観光地域づくりを進めており、日本を代表するルートとして国内外へPRするもの。

つくば市議会観光開発推進特別委員会（委員長：山本みわ）で、つくば～土浦間の試走をしてみました。サイクリストだけでなくだれもが気軽に楽しめるよう、つくばでも拠点整備をしてみました。



つくば市「地酒で乾杯条例」制定

つくば市には霧筑波の「浦里酒造店」と男女川の「稲葉酒造」2つの蔵元があり、両酒造が平成30酒造年度全国新酒鑑評会で金賞を受賞。また、近年、つくば市産のブドウでワインの製造もしています。つくば市のPRや地元特産品の普及促進を図るために、地酒等による乾杯を推進することを条例にしました。

（山本みわが提案者）



リサイクルセンター調査

4月に供用開始したつくばリサイクルセンターの稼働状況を会派で視察。ほとんどが自動で機械処理。圧巻でした。しかし、この量！リサイクルのためには、ゴミを出す私たちの分別がカギを握っています。プラスチックごみの分別収集が始まっていますが、月2回の収集の回数を増やすよう、19年6月議会で要望しました。主婦の目線です。

